

INFOPRO 2009

第6回情報プロフェッショナル シンポジウム

会期 2009年10月14日(水)～ 15日(木)

会場 日本科学未来館 7階
(東京都江東区青海2-41)

<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

主催 独立行政法人 科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency (JST)

社 団 法 人 情 報 科 学 技 術 協 会
Information Science and Technology Association (INFOSTA)

後 援 専門図書館協議会
特定非営利活動法人 日本医学図書館協会
財団法人 日本情報処理開発協会
社団法人 日本図書館協会

INFOPRO 2009 タイムテーブル

2009年10月14日(水)

	A会場 みらいCANホール	B会場 会議室2	C会場 会議室1
13:00~14:55	セッションA1 特許情報1 (座長:徳野 肇)	セッションB1 電子情報資源1 (座長:土谷 久)	セッションC1 情報教育 (座長:山崎 久道)
13:00~13:25	A11 特許情報と文献情報の統合解析による技術情報の可視化	B11 国内学術論文の電子アーカイブ化事業 (Journal@rchive)について	C11 情報リテラシー教育を通じた社会人基礎力の育成
13:30~13:55	A12 特許検索における全文データベースと抄録・索引系データベースの比較	B12 個人用電子ジャーナルリストの構築	C12 初等教育における情報機器を活用した食育の試み
14:00~14:25	A13 適合性フィードバック技術に改良を加えた特許公報検索手法	B13 論文誌の被引用数、電子ジャーナルアクセス数と審査に関する要因との関連について	
14:30~14:55	A14 Prophetic化合物の索引に関する検討	B14 日本発行の科学技術分野の電子ジャーナル数	
14:55~15:15	休 憩		
15:15~15:30	挨拶		
15:30~17:00	特別講演 イノベーションにおける情報専門家の役割		
17:30~19:30	情報交流会(於:レストラン)		

2009年10月15日(木)

	A会場 みらいCANホール	B会場 会議室2	C会場 会議室1
10:00~12:30	トーク&トーク ワンランク上のインフォプロ		
12:30~13:30	トーク & トーク 懇親会 (於: レストラン)		
14:00~15:25	セッションA2 電子情報資源2 (座長:林 和弘)	セッションB2 情報システム構築 (座長:深澤 信之)	プロダクト・レビュー1 (司会:川村 剛)
14:00~14:25	A21 J-GLOBAL(科学技術総合リンクセンター)のサービス向上への取組み	B21 計測情報に特化した実用的な情報システム構築の試み	14:00~14:20 P01 トムソン・ロイター 14:20~14:40 P02 社団法人化学情報協会
14:30~14:55	A22 臨床試験情報サイトの有用性に関する検討	B22 業界動向を把握するためのデータベース運用	14:40~15:00 P03 株式会社ジー・サーチ 15:00~15:20 P04 ユサコ株式会社
15:00~15:25	A23 「索引」を利用したデータベースの効率的な検索	B23 トピックに依存した論文ランキング	
15:25~15:35	休 憩		
15:35~17:00	セッションA3 特許情報2 (座長:下川 公子)	セッションB3 情報流通・制度 (座長:小野澤繁雄)	プロダクト・レビュー2 (司会:川村 剛)
15:35~16:00	A31 中国・台湾および韓国特許庁データベースの全文検索機能とその活用	B31 学術誌における著作権規定への提案	15:35~15:55 P05 エルゼビア・ジャパン株式会社 15:55~16:15 P06 株式会社サンメディア
16:05~16:30	A32 米国特許分類の研究	B32 戦後、日本国内における理工学図書館の海賊版	16:15~16:35 P07 NPO 医学中央雑誌刊行会 16:35~16:55 P08 独立行政法人科学技術振興機構
16:35~17:00	A33 初心者のサーチャーは何故、特許情報の検索で困るのか?	B33 XMLに基づいたバイオインフォマティクスデータベースの構築	

第1日目 10月14日(水)

A会場 みらいCANホール

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:55 セッションA1 特許情報1
座長 徳野 肇 ((株)三菱化学テクノロジー)

演題A11 特許情報と文献情報の統合解析による技術情報の可視化
- 技術情報から見た高知県及び愛媛県における研究開発及び産学連携の現状とその動向 -
エヌ・アール・アイ・サイバーパテント(株) ○堀江進之助、上田 昌平
独立行政法人科学技術振興機構 佐藤 暢、野田口真也
落合 圭、山口 祐穂
坂内 悟

演題A12 特許検索における全文データベースと抄録・索引系データベースの比較
(社)化学情報協会 ○田澤 綾子、渡辺 麻未
河内 愛

演題A13 適合性フィードバック技術に改良を加えた特許公報検索手法
東北大学 ○阿部 仁、長平 彰夫

演題A14 Prophetic化合物の索引に関する検討
- Prophetic化合物の索引状況と、構造検索や特許審査への影響を探る -
日本化薬(株) ○吉岡 純子
旭化成ファーマ(株) 安藤 敏
味の素(株) 下川 公子
エーザイ(株) 江口 佳人
塩野義製薬(株) 北野 裕司
万有製薬(株) 荻野 和枝
持田製薬(株) 松本功一郎

14:55~15:15 休憩

15:15~15:30 挨拶 独立行政法人科学技術振興機構 理事長 北澤 宏一
社団法人情報科学技術協会 会長 小野寺夏生

15:30~17:00 特別講演 イノベーションにおける情報専門家の役割

講師 吉川弘之氏 独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センターセンター長

17:30~19:30 情報交流会 会場: レストラン

B会場 会議室2

○は会場発表者、敬称略

13:00~14:55 セッションB1 電子情報資源1
座長 土谷 久 (ノバルティスファーマ(株))

演題B11 国内学術論文の電子アーカイブ化事業 (Journal@rchive) について
- アーカイブの重要性と課題 -
独立行政法人科学技術振興機構
○佐藤 竜一、飯田 正樹
川井千香子、甲斐 靖幸
土屋 江里、宮川 謹至

演題B12 個人用電子ジャーナルリストの構築
- ファイルメーカーProを利用した電子ジャーナルリストと個人用電子ジャーナル
リストの作成 -
ラクオリア創薬(株)
○村瀬菜都子、若林 宏明

演題B13 論文誌の被引用数、電子ジャーナルアクセス数と審査に関する要因との
相関について
- 日本化学会の事例 -
(社)日本化学会
東京大学
○林 和弘、太田 暉人
小川桂一郎

演題B14 日本発行の科学技術分野の電子ジャーナル数
- 2005年から2008年への変遷 -
愛知大学
時実 象一

C会場 会議室1

○は会場発表者、敬称略

13:00~13:55 セッションC1 情報教育
座長 山崎 久道 (中央大学)

演題C11 情報リテラシー教育を通じた社会人基礎力の育成
- 青年会議所との協調によるプレゼンテーションの試み -
桜美林大学大学院
辰島 裕美

演題C12 初等教育における情報機器を活用した食育の試み
- 参加型プレゼンテーションと体験学習による学習効果 -
鈴鹿短期大学
仙台白百合女子大学
○田中 雅章
神田あづさ

特別講演

イノベーションにおける情報専門家の役割

10月14日(水) 15:30~17:00

講師 吉川 弘之 氏(よしかわ・ひろゆき)

独立行政法人産業技術総合研究所 最高顧問

独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センターセンター長

1956.3 東京大学工学部精密工学科 卒業

1956.4 三菱造船入社

1956.10 株式会社科学研究所(現 理化学研究所) 入所

1966.4 東京大学工学部助教授

1967.4 英国バーミンガム大学客員研究員

1977.4 ノルウェー国立工科大学客員教授

1978.7 東京大学工学部教授

1987.4 東京大学評議員

1989.4 東京大学工学部長

1993.4 東京大学長

1997.7 日本学術会議会長

1997.9 日本学術振興会会長

1998.4 放送大学長

1999.9 国際科学会議(ICSU)会長

2001.4 独立行政法人産業技術総合研究所理事長

2009.4 独立行政法人科学技術振興機構研究開発戦略センターセンター長 就任



・講演概要

吉川先生は、これまで国内および国際機関で多くの要職を歴任されてきました。最近では、ブダペスト宣言(1999年)を回顧し、「持続性のための科学研究」への提言もされています。その中で、“社会のための科学的知識”を作り出すこと、そしてその知識量は膨大なものになることを述べておられます。また、ポストクをはじめ、人材に関する提言も数多くされています。

今回のご講演では、研究開発におけるイノベーションを推進する中で、こうした膨大な知識量を収集、分析、解析を日々行うインフォプロ(情報専門家)に焦点をあて、インフォプロの果たすべき役割を中心にお話いただきます。

トーク&トーク

「ワンランク上のインフォプロ」

10月15日(木) 10:00~12:30

12:30~13:30(軽食ビュッフェ; 別会場)^(*)

インターネットを利用した情報流通が浸透して久しいですが、信頼できる情報できない情報、有料の情報無料の情報、各種各様の情報が入り乱れ、あるいは氾濫している中で、正確な情報とそれらの情報に基づいた確かな提言を提供することが求められています。その一方で、溢れる無料の情報量に目を奪われ、全ての情報が誰にでも入手できるような認識の風潮も広がっているようにも見受けられます。このように対立する価値観が併存している中、インフォプロの皆さんに求められている役割もこれまで以上に広がり、期待度も高まっているはずです。

今回のトーク&トークには、異なるバックグラウンドの三人の方をお迎え致します。それぞれの方が築いてきたところ、破ってこられた殻についての話題提供をきっかけに、話題提供者と参加者、参加者間の意見交換を展開し、皆さんの目指すところのイメージが掴め、あるいは異なる立場と思われたお三方に共通の視点・方向性などが皆さんと共有でき、皆さんの次の一歩への後押しになればと思います。どうぞ奮ってご参加ください。

話題提供者と話題(予定)(五十音順)

小林 慎一氏 (株式会社三菱総合研究所)

広範囲なあるいは将来の社会や技術の動向を見据えた調査やソリューションの提供をシンクタンクにて実践されてきた小林慎一様からは、

- ・企業の事業部門、経営層はシンクタンクに何を期待しているのか。
- ・依頼企業内の調査・開発部門(情報部門も含まれる)とシンクタンクとの違いはどこにあると考えるか。どこに優位性があるかと考えるか。

というような切り口から。

小林 隆志氏 (鳥取県立図書館)

「一歩先に行く」図書館を実践されてきた小林隆志様からは、

- ・魅力ある図書館、利用される図書館にするためにどのような取り組みをして、どのような反響・効果があったか。
- ・どのような視点で行動することが必要か。

というような切り口から。

菅原 好子氏 (三井化学株式会社)

知財部組織のありかた、その意識改革に企業の知財部で携わられた菅原好子様からは、

- ・知財部(特に情報部門)が事業部・経営層に評価されるためにどのように行動すべきか。
- ・知財部外から見て、情報部門にどのようなことが期待されているか。期待に応えられていないとしたらそれは何故か。

というような切り口から。

コーディネーター

下川 公子氏 (味の素株式会社) / 徳野 肇氏 (株式会社三菱化学テクノロジー)

(*) トーク&トーク終了後、話題提供者との昼食を兼ねた交流の場を設定します(有料、事前申込み制)。

10:00~12:30 トーク&トーク

ワンランク上のインフォプロ

14:00~15:25 セッションA2 電子情報資源2
座長 林 和弘 ((社)日本化学会)

演題A21 J-GLOBAL(科学技術総合リンクセンター)のサービス向上への取組み
- ヒアリングに見るサービス拡充の方向性 -
独立行政法人科学技術振興機構

○植松 利晃、松邑 勝治
黒沢 努、加藤 治

演題A22 臨床試験情報サイトの有用性に関する検討

バイエル薬品(株)
アステラス製薬(株)
大塚製薬(株)
小野薬品工業(株)
参天製薬(株)
(株)三和化学研究所
大日本住友製薬(株)
武田薬品工業(株)
田辺三菱製薬(株)
日本新薬(株)
シュERING・プラウ(株)
アイ・エー・シー(株)

○夏原やよい、鄭 兆雄
大野 薫、竹中康平
中野 敦子、市岡 剛宏
中江 貴彦、松尾 政芳、石田 修
清玄寺雅媛
本田 直樹
中村 規子、西野 順子、中尾 泰美
寺浦 一正、成瀬瑠里子
小島 史照、川島 弓子
中村 文胤、網本 淳子、屋鋪 吉隆
斉藤 郁
平松佐知子

演題A23 「索引」を利用したデータベースの効率的な検索
- 各種データベースの索引の特徴を考慮した効率的な検索方法の検討 -
(株)三菱化学テクノロジー
田辺三菱製薬(株)
エーザイ(株)
ゼリア新薬工業(株)
(株)帝人知的財産センター

○井上 瑠美
川島 弓子、加藤千賀子
江口 佳人
高橋 和之
谷口 直秀

15:25~15:35 休憩

15:35~17:00 セッションA3 特許情報2
座長 下川 公子 (味の素(株))

演題A31 中国・台湾および韓国特許庁データベースの全文検索機能とその活用
日本パテントデータサービス(株)
東ソー(株)

○伊藤 徹男
沖 祥嘉

演題A32 米国特許分類の研究
- 分類の探し方と階層分類 -

ダイセル化学工業(株)
富士フイルム(株)
(株)三菱化学テクノロジー

○山崎登和子
立石 博道、加藤久仁政
本美 勝子

演題A33 初心者のサーチャーは何故、特許情報の検索で困るのか?
- 原因と解決法の見える化 -

(財)日本特許情報機構 客員研究員
日科情報(株)
はやぶさ国際特許事務所
大阪工業大学大学院 知的財産研究科
(財)日本特許情報機構
田中貴金属工業(株)
(株)パトリス

○桐山 勉
長谷川正好、田中 宣郎
川島 順
都築 泉
藤城 享
藤嶋 進
濱崎 聡子

10:00



トーク&トーク 「ワンランク上のインフォプロ」 (A会場)

12:30

14:00~15:25 セッションB2 情報システム構築
座長 深澤 信之 (科学技術振興機構)

演題B21 計測情報に特化した実用的な情報システム構築の試み
産業技術総合研究所 ○前田 英司、菖蒲 一久
安達 芳雄、西久保桂子
野間 弘昭

演題B22 業界動向を把握するためのデータベース運用
- 創薬シーズ・基盤技術アライアンスネットワークを事例に -
大阪商工会議所 ○吉川 徹
神戸みなと特許事務所 西脇美奈子

演題B23 トピックに依存した論文ランキング
- 学術論文引用ネットワーク分析 -
富士ゼロックス(株) ○岡本 洋、坪下 幸寛
園田 隆志

15:25~15:35 休憩

15:35~17:00 セッションB3 情報流通・制度
座長 小野澤繁雄 (埼玉医科大学附属図書館)

演題B31 学術誌における著作権規定への提案
- 国内学会誌における著作権の取り扱い調査結果および著作権規定の方向性の
検討についての報告 -
独立行政法人科学技術振興機構 ○日高 真子、田寺 一暁
久保田壮一、宮川 謹至

演題B32 戦後、日本国内における理工学図書の海賊版
愛知大学文学部 ○鈴木ひとみ、山本 昭

演題B33 XMLに基づいたバイオインフォマティクスデータベースの構築
青海師範大学 宋 長新

C会場 会議室1

10:00



トーク&トーク 「ワンランク上のインフォプロ」 (A会場)

12:30

14:00~15:20 プロダクト・レビュー1 司会：川村 剛 ((有)川村テクノサーチ)

P01 Thomson Innovation (日本語インターフェース版)
トムソン・ロイター IPソリューションズ

P02 インフォプロ・エンドユーザーのための情報サービス
社団法人化学情報協会

P03 Dialog APIを利用した社内システム連携
株式会社ジー・サーチ

P04 論文レベルのレコメンデーションサービス - bx -
ユサコ株式会社

15:20~15:35 休憩

15:35~16:55 プロダクト・レビュー2 司会：川村 剛 ((有)川村テクノサーチ)

P05 イノベーション支援システム illumin8 (イルミネイト)
エルゼビア・ジャパン株式会社

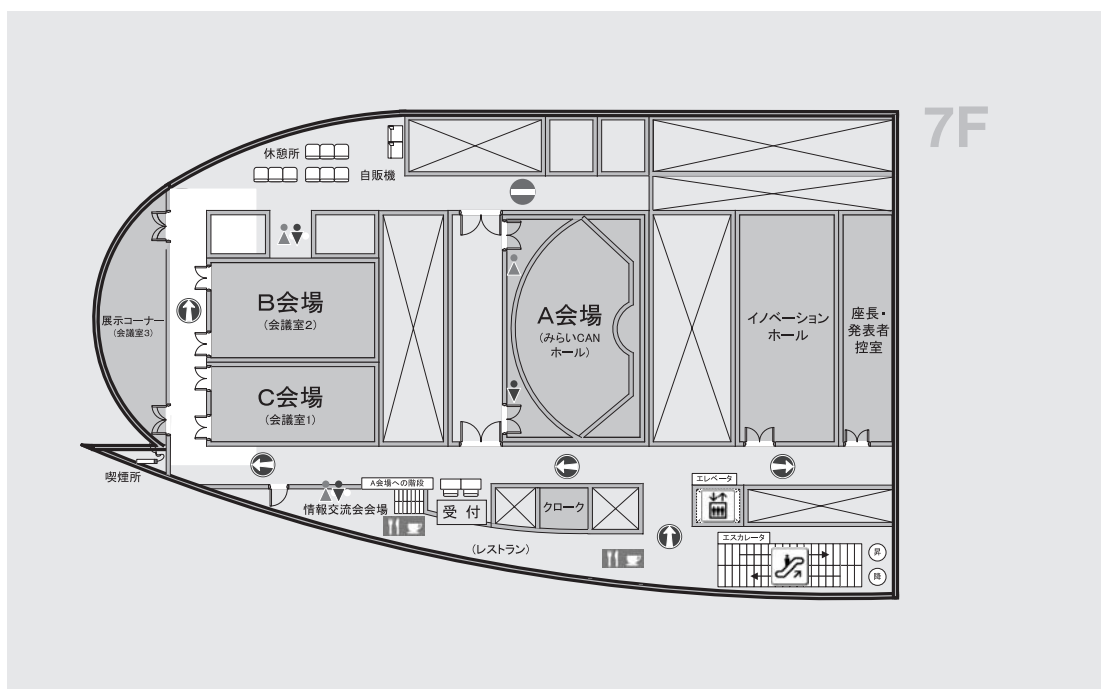
P06 電子資料の価値を最大化するソリューションツール
株式会社サンメディア e-Port

P07 医中誌Web 新バージョンのご案内
特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会

P08 進化する文献情報提供サービス
独立行政法人 科学技術振興機構

会場案内図

日本科学未来館 7階 (1階エレベーターをお使いください)



A会場 (miraiCANホール)

- 特別講演
- トーク&トーク
- 研究・事例発表

B会場 (会議室2)

- 研究・事例発表

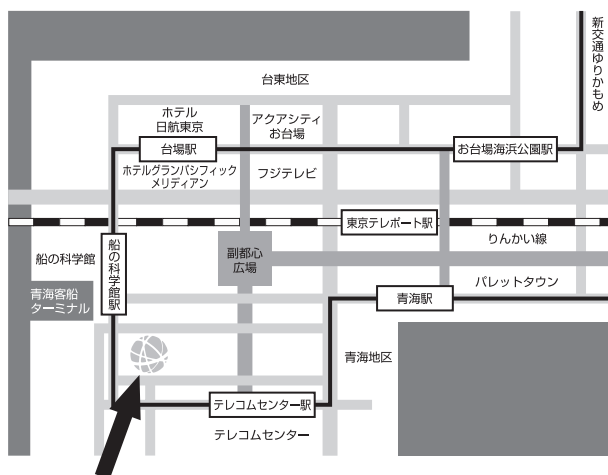
C会場 (会議室1)

- 研究・事例発表
- プロダクトレビュー

展示コーナー (会議室3)

会場へのアクセス

東京都江東区青海2丁目41番3



電車

- 新交通ゆりかもめ (新橋駅～豊洲駅)

「船の科学館駅」下車、徒歩約5分

「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

- 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅～大崎駅)

「東京テレポート駅」下車、徒歩15分

都バス

- JR浜松町駅より

虹01 (浜松町駅～国際展示場前駅) 「日本科学未来館前」下車

- 東京メトロ東西線門前仲町駅より

海01 (門前仲町～東京テレポート駅前) 「日本科学未来館前」下車

京急バス

- JR大井町駅より

井30 (大井町駅～船の科学館前) 「船の科学館前駅」下車

- JR大森駅より

森30 (大森駅～大森海岸線～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

森40 (大森駅～平和島駅～船の科学館前) 「テレコムセンター駅前」下車

船

- 水上バス

(日の出桟橋～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

(しながわ水族館～大井海浜公園～船の科学館) 約25分 「船の科学館」下船

車

- 横浜・川崎・大井・品川方面

首都高速湾岸線 東京湾トンネル通過後、13号地ランプより1.2Km

- 箱崎(都心)・小管・千梨方面

首都高速湾岸線 有明ランプより直進3Km

- 竹芝・芝浦方面

首都高速11号線 台場ランプより約2Km

臨港道路(レインボーブリッジ下層)を通り、台場出口より約1.8Km

□参加費（予稿集代、2日間共通）

シンポジウム聴講：一般：6,300円 学生：2,100円（消費税込み）

トーク&トーク懇親会：1,200円（消費税込み）

情報交流会：4,200円（消費税込み）

□参加申込み方法

参加申込受付フォーム (<http://www.dicalpha.net/infopro/>) もしくは別紙の「参加申込用紙」でお申し込みください。

独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency (JST)

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3
研究基盤情報部 調査普及課
TEL : 03-5214-8406 FAX: 03-5214-8420

社団法人
情報科学技術協会
Information Science and Technology Association
(INFOSTA)

〒112-0002 東京都文京区小石川2-5-7
佐佐木ビル
TEL : 03-3813-3791 FAX : 03-3813-3793
E-mail : sympo@infosta.or.jp

*お申込みに関するお問い合わせは、以下へお願いいたします。
INFOPRO受付担当 TEL : 03-5391-2174 FAX : 03-5391-2232

参加申込は、
以下の参加申込受付フォーム
<http://www.dicalpha.net/infopro/>

プログラムは、
以下のINFOSTAホームページ
<http://www.infosta.or.jp/symposium/infopro2009program.pdf>